

特別会計決算額

特定の事業を行うために一般会計と区別して処理する会計です。

会計名 (事業名)	歳入	歳出	歳入歳出 差引額
国民健康保険 特別会計	39億6,065万円	40億5,247万円	△9,182万円
後期高齢者 医療特別会計	2億9,703万円	2億9,141万円	562万円
流域関連公共 下水道事業 特別会計	11億7,030万円	11億5,605万円	1,425万円

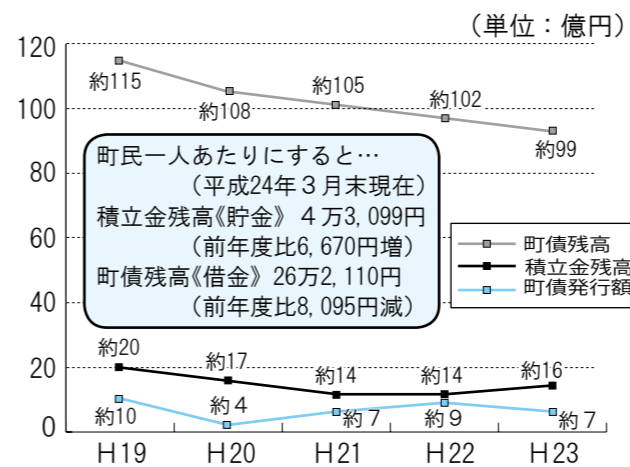
公営企業会計決算額

自治体でも法律で収益が認められている公営企業の会計です。

収益的収支（水道料金などでの収支）	
収益的収入	5億6,272万円
収益的支出	6億2,468万円
収支差引	△6,196万円
資本的収支（施設建設などでの収支）	
資本的収入	1億2,971万円
資本的支出	2億8,101万円
収支差引	△1億5,130万円

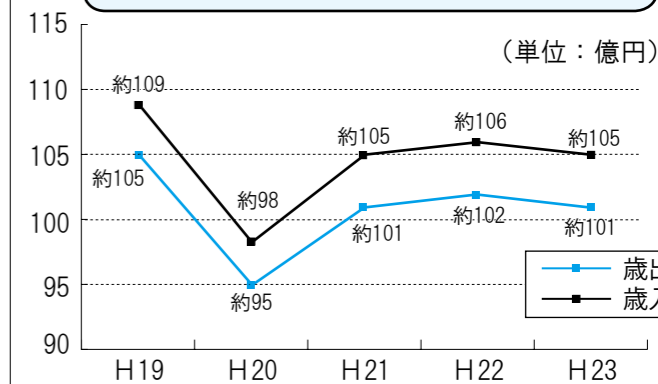
一般会計積立金残高、町債残高 及び町債発行額の推移

町債残高が16年ぶりに100億円を下回りました。



一般会計歳入・歳出決算額の推移

一般会計を町民一人あたりにすると…
※平成24年3月31日現在の人口37,946人で算出
町税負担額 8万8,817円(前年度比 1,036円増)
使われたお金 26万6,975円(前年度比 2,248円減)



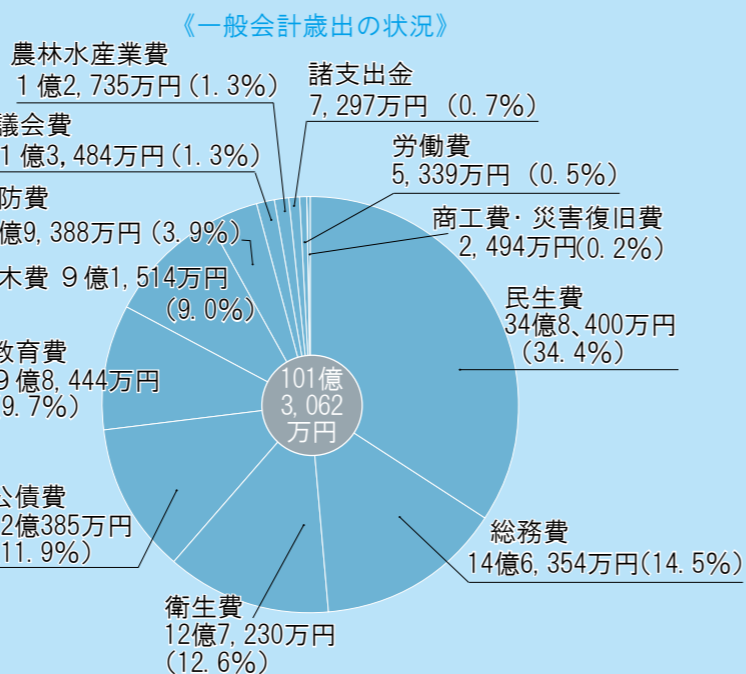
一般会計収支決算

実質収支額は、3億7,417万8千円の黒字

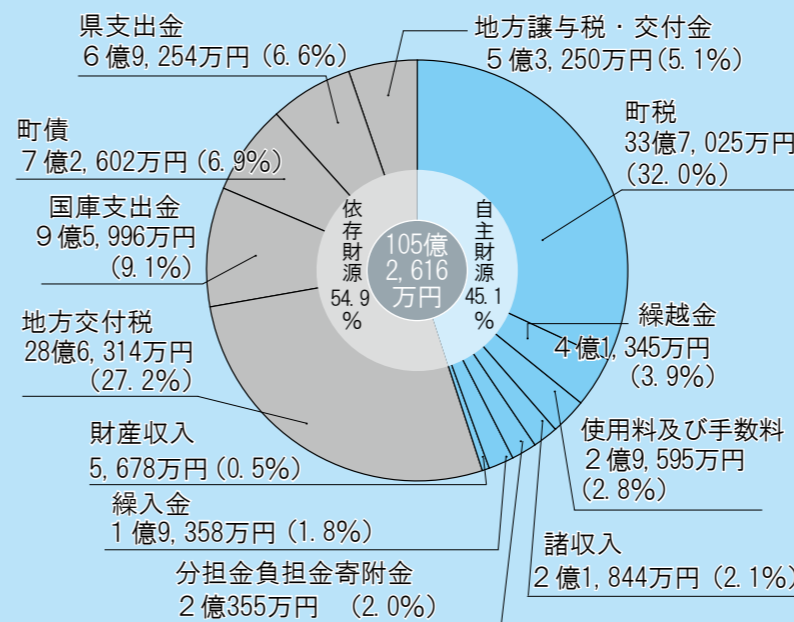
平成23年度一般会計の決算額は、歳入総額105億2,615万6千円、歳出総額101億3,062万1千円で、差し引き3億9,553万5千円でした。また、平成24年度へ繰り越すべき財源2,135万7千円を差し引いた実質収支額は、3億7,417万8千円となり、黒字決算となりました。

歳入は、国庫補助金や町債（臨時財政対策債など）が減少したことで、前年度から9,165万9千円（0.9%）の減となりました。歳出は、小学校耐震補強事業及び災害復旧事業等の完了などにより前年度から7,374万2千円（0.7%）の減となりました。

※歳入・歳出ともに地方財政状況調査より



一般会計歳入の状況



平成23年度 まちの決算

平成23年度の一般会計と特別会計の決算が9月定例議会で認定されました。決算とは、町にどのようなお金が入ってきて、そのお金をどのように使ったのかをまとめた町の家計簿です。

町が行っているいろいろな仕事は、皆さんが納めている税金や国、県からの交付金などでまかなわれています。これらのお金が「まちづくり」にどのように使われたのかをお知らせします。

【問い合わせ】
総合政策経営課
TEL 934-2247



宇美町の主な財政指標 2 財政力指数

地方公共団体の財政運営の自主性の度合いを示す指標で、言い換えれば、標準的な行政需要に自前の財源でどれだけ対応できるかを表しています。基準財政収入額を基準財政需要額で割って得た数値の過去3カ年の平均値で、普通交付税にどれだけ頼らずに財政運営しているかを表しており、この数値が1を超えると交付税の交付を受けない不交付団体となります。（1に近づくほど財政に余裕があるとされており、指数が低いほど交付税への依存が強いといえます）

財政力指数

19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
0.588	0.603	0.587	0.557	0.542

宇美町の主な財政指標 1 経常収支比率

経常経費（人件費、扶助費、公債費などの毎年度連続して固定的に支出される経費）に使われた一般財源の経常一般財源収入（毎年度連続して収入される使途が特定されない収入）に対する割合で、この比率が低いほど弾力的な財政運営ができる団体といえます。

平成23年度の経常収支比率は、昨年度から2.5ポイント悪化し94.5%となりました。糟屋地区1市7町の平均は87.6%で宇美町は財政の硬直化が進んでいます。

経常収支比率

19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
95.7%	96.2%	95.4%	92.0%	94.5%

健全化判断比率と資金不足比率

平成23年度の宇美町財政健全化判断比率等

平成19年6月に成立した「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき、財政の健全度を測る4つの指標（実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率）と公営企業の資金不足比率について算出し公表します。

いずれかの指標が「早期健全化基準」（＝黄色信号）以上になると、町議会で「財政健全化計画」を議決し、自主的な改善努力による財政健全化を図ることとなります。また、「財政再生基準」（＝赤信号）を超える指標がある場合はいわゆる「財政破綻」と見なされ、国などの関与による財政再建に取り組まなければなりません。

平成23年度決算に基づく町の健全化判断比率等はいずれも基準値以下の水準を保っています。

指標の意味や内容については、宇美町役場のホームページ（宇美町の財政状況）をご覧ください。

指標	年度	宇美町	早期健全化基準 (黄色信号)	財政再生基準 (赤信号)
実質赤字比率	21年度	※(一)	14.13%	20.00%
	22年度		14.09%	
	23年度		14.08%	
連結実質赤字比率	21年度	※(一)	19.13%	40.00%
	22年度		19.09%	35.00%
	23年度		19.08%	30.00%
実質公債費比率	21年度	12.6%	25.0%	35.0%
	22年度	13.4%		
	23年度	13.0%		
将来負担比率	21年度	92.3%	350.0%	
	22年度	76.0%		
	23年度	54.6%		
資金不足比率	21年度	※(一)	20.0%	
	22年度			
	23年度			

※赤字額が発生していないため、表示される数値はありません。